全建発第１５～０８５号
平成１５年６月５日

行政機関の長　　殿
土木等部門の長　　殿

社団法人　全日本建設技術協会
会　長　　鈴木　道雄

第４７５回建設技術講習会（最新の建設技術）開催について

謹啓　時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、公団・公社等に勤務する建設関係職員約１０万名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術者の「技術水準の向上」等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。 これらに対処するためには、職員の一層の技術力向上が求められております。本会ではこのような認識にたち、平成１５年度建設技術講習会について、別紙のとおりご案内を差し上げたところであります。

このたびの第475回建設技術講習会では、「最新の建設技術」をテーマとし、技術研究開発政策の新展開をはじめ、それと現場との関わり、入札契約のあり方、更には新施工法・新材料等に係る技術情報及び現地における創意工夫を図った事例に至るまで、建設技術を巡る最新の動向を知ることを目的としております。本講習は公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。　　敬　具

写

全建発第１４～２４９号
平成１５年１月６日

社団法人　全日本建設技術協会
研修委員長　　北　橋　建　治
（国土交通省大臣官房技術調査課長）

平成１５年度の講習会参加について（お願い）

本会の建設技術講習会及び実地研修会については、お蔭をもちまして毎回多数の参加をいただいており、厚く御礼を申し上げます。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、職員の一層の技術力や調整能力の向上が求められます。例えば、平成１３年４月から適用された「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」においても、国、特殊法人等及び地方公共団体は、「職員に対し、公共工事の入札及び契約が適正に行われるよう、関係法令及び施工技術に関する知識を習得させるための教育及び研修その他必要な措置を講ずるよう努めなければならない」とされており、「職員研修」の果たすべき役割は従来にも増して一層重要になっていると考えております。

本会では、このような認識にたち、平成１５年度の建設技術講習会・実地研修会及び海外研修計画について、別紙のとおり決定し、実施することとなりました。

以上の趣旨を御理解のうえ、職員研修の場として活用されますよう特段の御配慮をお願い申し上げます。

また、本会講習会に参加できない職員の方々に対して、例えば、参加の職員から講習内容を伝達するような場を設けるなど、多くの職員の技術力等向上のための取り組みについて御配慮いただければ幸いであります。

なお、本会講習会の参加にご理解をいただくため、貴機関管理者あて会長名の文書を同封しましたので、貴職からご説明をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

全建発第15-079号
平成15年６月５日

殿

社団法人　全日本建設技術協会
会　長　　鈴　木　道　雄

第475回建設技術講習会（最新の建設技術）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成15年８月６日（水）～８月８日（金)、岩手県盛岡市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では「今日、品質を確保し、より効率的な施工を図るとともに既存のストックを有効に活用することが求められている。このためには最新の建設技術、維持修繕技術の導入を図るとともに、既存技術を用いた現場における創意工夫が一層要請されている。技術研究開発政策の新展開をはじめ、それと現場との関わり、入札契約のあり方、更には新施工法・新材料等に係る技術情報及び現地における創意工夫を図った事例に至るまで、建設技術を巡る最新の動向を知る」ことを目的としています。

なお、本講習会は国土交通省の後援をうけております。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり
②聴　講　料：正会員・特別会員・賛助会員…… 7,600円〔うち昼食代1,600円(2日分)〕
非会員……12,600円〔　〃　〕
(聴講のみの参加も受付けます)
③現場研修料：…… 6,900円〔うち昼食代1,200円〕
(現場研修のみの参加はお断りしております)
④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金を添えて期限までに下記全建事務局までお申し込み下さい。
申込金が同封されていなかったり、銀行振込の（写）が添付されていない場合は受理できません。
また、**講習会当日、会場での追加申込は原則として受付いたしません。**
⑤申込書送付先：社団法人　全日本建設技術協会　事業課　☎03(3585)4546
〒107-0052　東京都港区赤坂3-21-13　ランディック藤井ビル7F
⑥振込銀行口座：東京三菱銀行赤坂見附支店　普通預金口座№0311142
口座名義：社団法人　全日本建設技術協会
お振込の際は、振込名義の前に、開催回数の「№475」をつけ加えて下さい。
⑦申込締切日：**平成15年7月9日（水）必着（締切日以降に到着したものは受理しませんので、お申込みが締切日直前となる場合は、必ずご連絡下さい。）**

※取り消し・返金について

申込期限後の取り消しについては、返金できません。ただし、公務上緊急の都合による場合に限り、下記のように処理いたします。なお、返金及び欠席者のテキストは講習会終了後に、所属協会宛にお送りいたします。

【返金方法】

平成15年7月25日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
平成15年8月１日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金いたしません

※テキスト・聴講券及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は両日、講義終了後お渡しします。なお、受講される場合、会場内では聴講に相応しい服装でご参加願います。また、事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に現場研修時は一切お断りします。

講習会の予定(日程、テーマ等)については、全建ホームページもご覧下さい。http://www.zenken.com/

この講習会は(社)全国土木施工管理技士会連合会で実施の「継続学習制度（CPDS)」に指定された講習会です。（CPDS 登録希望者及び受講認定を必要とする方には、会場で学習履歴登録手続きについてご案内します。）

第475回建設技術講習会（最新の建設技術）日程

－今日、品質を確保し、より効率的な施工を図るとともに既存のストックを有効に活用することが求められている。このためには最新の建設技術、維持修繕技術の導入を図るとともに、既存技術を用いた現場における創意工夫が一層要請されている。技術研究開発政策の新展開をはじめ、それと現場との関わり、入札契約のあり方、更には新施工法・新材料等に係る技術情報及び現地における創意工夫を図った事例に至るまで、建設技術を巡る最新の動向を知る－

聴　　講……平成15年８月６日（水）、７日（木）
現場研修……平成15年８月８日（金）
会　　場……岩手教育会館　大ホール
〒020-0022　盛岡市大通1-1-16
TEL　0196-23-3301

1日目　8月6日（水）			
10：00 〜 10：20	あいさつ	岩手県知事	増　田　寛　也
	〃	盛岡市長	桑　島　　博
10：20 〜 11：20	社会資本整備と事業評価について	東北大学大学院情報科学研究科 教授 工学博士	森　杉　壽　芳
11：30 〜 12：00	【地域における技術苦労話】 軽米町河川災害復旧	岩手県県土整備部 都市計画課長	平　井　公　康
13：00 〜 14：00	建設技術の研究開発の動向と そのねらい	国土交通省大臣官房技術調査課 技術開発官	森　下　博　之
14：10 〜 15：10	河川分野における最新技術の導入	国土交通省河川局河川計画課 課長補佐	森　川　幹　夫
15：20 〜 16：20	【特別講演】 環境首都いわてを目指して	岩手県工業技術センター 所 長	斎　藤　紘　一
16：20 〜 16：40 〜 17：00	【現場研修事業の紹介】 花巻空港拡張整備事業 一級河川北上川一関遊水地事業	岩手県花巻空港建設事務所 技術副主幹 国土交通省岩手河川国道事務所 工務第三課長	菅　原　公　雄 一　戸　欣　也
2日目　8月7日（木）			
9：50 〜 10：50	住宅・建築分野における技術開発 の動向	国土交通省住宅局住宅総合整備課 課長補佐	楢　橋　康　英
11：00 〜 12：00	道路分野における技術開発の現況 と動向	国土交通省道路局国道・防災課 課長補佐	大久保　雅　憲
13：00 〜 14：00	建設業における技術開発 〜都市再生等に資する次世代 　インフラの創造を目指して〜	鹿島建設株式会社土木設計本部 設計技術部 担当部長	吉　田　　正
14：10 〜 15：10	RC 構造物の LCC 評価技術 〜リスクマネジメントによる 　維持管理方法〜	大成建設株式会社技術センター 土木技術研究所 部長	田　中　良　弘
15：10 〜	閉会のあいさつ	岩手県建設技術協会会長	渡　部　正　利
講義終了後 １時間程度	講師との意見交換 （希望者のみ：２階会議室）	吉田講師・田中講師を予定	
	地域の独自調査		
【現場研修】　3日目　8月8日（金）			

JR 盛岡駅（２階）西口バスターミナル（マリオス横）（8：30）出発

⟶ 花巻空港拡張整備事業・宮野目地区周辺事業 ⟶ 昼食（12：00〜13：00　平泉町）

⟶ 一級河川北上川一関遊水地事業 ⟶ 一般国道284号薄衣バイパス（新北上大橋）

⟶ JR 一関駅（15：30）着後解散 ⟶ 花巻空港（16：30）着後解散

※上記講習会日程は都合により、講師、講義内容、現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第475回建設技術講習会「現場研修主な立ち寄り先の概要」

1. 花巻空港拡張整備事業……花巻市石鳥谷町

地域間交流の活発化、本格的な国際化時代の到来に対応して、内外に開かれた県土の形成を推進するため、県の交流拠点である花巻空港の滑走路 2500m に延長し、ターミナル地域を新たに東側に展開することにより、増大する航空需要への対応や国際チャーター便の運航拡大等、国内外の交流拠点としての機能拡大を図るものである。また、航空機の就航率の向上は、公共交通機関の使命でもあり特に降雪地にある本空港においては、冬季間の雪氷状況等における運航制限により就航率が低下することから滑走路延長に伴う運航制限緩和により就航率の向上を図るものである。

・滑走路の延長（2,000m ⇒2,500m ） 平行誘導路の新設(3,455m) ﾀｰﾐﾅﾙの移転 総事業費約 261 億円

2. 花巻市宮野目区周辺事業

「国道 4 号花巻東ﾊﾞｲﾊﾟｽ」＜国土交通省＞

・事業延長 8.3km(ﾊﾞｲﾊﾟｽ延長 7.8km+IC ﾗﾝﾌﾟ延長 0.5km) ・幅員 25.0m ・総事業費約 450 億円

「東北横断自動車道釜石秋田線整備事業(東和～花巻間)」＜ JH 東北支社＞

・工事区間延長 11.8km ・本線幅員 10.5m ・総事業費約 510 億円

「花巻流通業務団地造成事業」＜地域振興整備公団＞

・整備面積 約 37ha ・総事業費約 70 億円

「空港アクセス道路（新設）事業（一般県道東宮野目二枚橋線)」＜岩手県＞

・計画延長 3.65km ・幅員 32.0m ～ 20.5m ・総事業費 約 48 億円

「県道拡幅事業（一般県道東和花巻温泉線)」＜岩手県＞

・計画延長 4.26km ・幅員 12.5m ～ 16.5m ・総事業費 約 20 億円

3. 一級河川北上川一関遊水地事業…… 一関市・平泉町

一関遊水地は、計画洪水(1/100)から一関市・平泉町の市街地を守る周囲堤と中小洪水(1/10)からの地内の農地を守る小堤の２線堤方式により計画され、第一遊水地(820ha)、第二遊水地(470ha)そして第三遊水地(160ha)の合計 1,450ha で構成されている。

計画では狐禅寺地点の基本高水流量 13,000 m^3/s に対して、ダム群と一関遊水地により 4,500 m^3/s を調整し、計画高水流量 8,500 m^3/s に低減するもので、一関遊水地の分担量は 1,900 m^3/s である。

堤防等の河川管理施設については、用地買収を行っており、遊水地内については家屋の移転補償を行い、遊水地内は基本的に農地のみとし地役権補償を行うこととしている。

（地役権：「大洪水時に遊水させるために使用する土地として」地役権を設定しその対価を補償し、建物は移転の補償をする。なお、遊水地は河川区域としての指定をする）

4. 新北上大橋（国道284号薄衣ﾊﾞｲﾊﾟｽ）……一関市弥栄～川崎村

新しい北上大橋は、バランスドタイドアーチ形式。橋長 482m,支間長 208m,全幅員 19,8m と同形式で日本一の規模である。水面からアーチ頂上部までの高さは約 63m で巨大な鉄骨を恐竜に見立て「かわさきザウルス」の異名もある。薄衣ﾊﾞｲﾊﾟｽは平成 4 年から 11 年の歳月をかけ延長 3,420m、約 145 億円（うち新北上大橋が 70 億円）を投じて完成した。これまで洪水のたびに冠水し通行止めとなっていたが今回の道路改良でかさ上げを実施し、通行止めの解消も洪水対策と同時に実現した。

第475回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

① 宿 泊 料 金：宿泊希望者には盛岡市内のホテルを**別記のとおり**斡旋いたします。
斡旋する宿舎のロケーション等を確認のうえ申し込んで下さい。
② 宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。
③ 宿 泊 予 約 金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に**下記旅行会社に直接送金下さい。**
④ 送 金 先：西鉄旅行㈱ 東京営業本部 日本橋支店 ☎03(3272)2411 **FAX**03(3272)3169
銀行口座 東京三菱銀行八重洲通支店 普通預金口座№1015114
〒103-0027 東京都中央区日本橋3-9-12（第6中央ビル5F）
お振込の際は、振込名義の前に「**№475**」とつけ加えて下さい。

※取り消し・返金について

平成15年7月25日(金)までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
〃 8月１日(金)までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

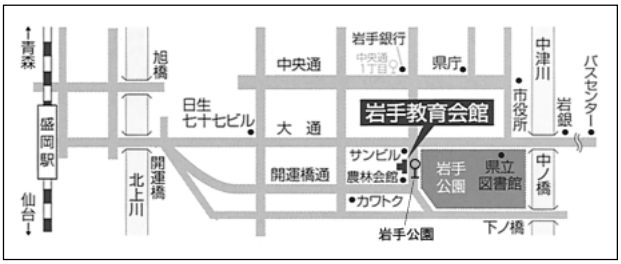
・申込後の宿泊予約の取り消し、変更については**上記旅行会社の「全建担当デスク」**まで直接ご連絡下さい。

平成15年8月5日(火)～7日(木)　　(1泊朝食付､サービス料･消費税･入湯税含む)

記号	宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
A	ホテルﾒﾄﾛﾎﾟﾘﾀﾝ盛岡(本館)	盛岡市盛岡駅前通1-44 TEL：019-625-1211	シングル	50名	￥9,800
	ホテルルイズ	盛岡市盛岡駅前通7-15 TEL：019-625-2611		90名	￥8,800
	ホテルパールシティ盛岡	盛岡市大通3-7-19 TEL：019-625-3311		50名	￥8,400
B	ホテルニューカリーナ	盛岡市菜園2-6-1 TEL：019-625-2222		120名	￥7,900
	盛岡ニューシティホテル	盛岡市盛岡駅前通13-10 TEL：019-654-5161		50名	￥7,200
宿泊斡旋人数合計				360名	

※朝食なしをご希望の方には、全てのホテルにおいて対応いたします。
・申込書の宿泊予約日にＡ又はＢの記号を記入願います。
・グループ内でのホテルの選択は先着順で斡旋いたしますのでご希望通りにならない場合がありますので予めご了承願います。宿舎が決定次第ご通知いたします。
（なお、朝食が不要な場合は、お申し込みの後お送りする「宿泊案内」をご覧下さい。）

会場・宿舎案内図



■会場までの交通案内

盛岡駅からの距離／約1.2㎞（徒歩約20分）
〈盛岡駅からの交通〉
●循環バス（でんでんむし）「岩手公園」バス停前
〈左回り〉約８分／〈右回り〉約30分　100円
●バス…盛岡バスセンター行
「中央通１丁目」バス停下車　徒歩３分　140円
●タクシー…５分

平成15年　月　日

社団法人　全日本建設技術協会　殿

協会名　　印
（特別・賛助会員名）

第475回建設技術講習会（最新の建設技術）申込書

参加者			勤務先	聴講者別		昼食不要（×印）	現場研修	宿泊予約日		
	（フリガナ） 氏名 （参加者が女性の場合は番号を○囲みして下さい）	年齢	（所属課名まで記入のこと）	正会員	非会員			予約日に○印を記入して下さい 8／5	8／6	8／7
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

聴講料

正会員・特別会員・賛助会員		名× 7,600円＝	円
〃	（昼食不要）	名× 6,000円＝	円
非会員		名×12,600円＝	円
〃	（昼食不要）	名×11,000円＝	円
現場研修料		名× 6,900円＝	円
		計	円

↑現場研修の昼食は不要の申し出はできません※

宿泊予約金

泊×4,000円

計　円

↓全建に振込　　↓西鉄旅行に振込

〔申込にあたっての注意事項〕
①宿泊予約の取り消し、変更については別記旅行会社に直接ご連絡願います。
②申込金を銀行送金される場合、銀行振込の（写）を申込書に必ず添付して下さい。
③申込の締め切り日は平成15年7月9日(木)です。
④斡旋します宿舎は**1泊朝食付き**です。
⑤特別会員・賛助会員の方は正会員（聴講者別欄）の枠内に○印を記入して下さい。

（昼食について）
昼食時間が限られており、また、会場周辺には充分な昼食施設がありませんので、極力、用意の昼食をご利用下さい。
当日、昼食が不要の場合、×印を記入して下さい。会場においては、昼食の申し込みは受け付けておりませんので、予めご了承下さい。
※現場研修の昼食について：
現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできません。予めご了承下さい。